

2023年2月17日

横浜ゴム、インドの乗用車用タイヤの生産能力を年産 450 万本へ拡大

横浜ゴム（株）は、拡大するインド市場の需要に応えるため、インドでの乗用車用タイヤの生産能力を増強します。8,200 万米ドルの追加投資により、インド東部の Visakhapatnam（ヴィシャカパトナム）工場^{*}の敷地内に新たに乗用車用タイヤの生産ラインを設けます。これにより、インドの乗用車用タイヤ生産販売会社である Yokohama India Pvt. Ltd.（ヨコハマ・インディア=YIN）と合わせて乗用車用タイヤの生産能力を現在の年産 280 万本から 450 万本に引き上げます。2024 年第 4 四半期からの生産開始を予定しており、将来的には 22 インチまでの乗用車用タイヤの生産を視野に入れています。

^{*}農業機械用タイヤなどオフハイウェイタイヤ（OHT）生産販売子会社である Yokohama Off-Highway Tires（ヨコハマ・オフハイウェイタイヤ=YOHT）の生産能力増強のため 2022 年 8 月から操業を開始した新工場。

YIN は 2007 年に設立されて以来、インド市場において販売量を大きく伸ばしてきました。インド市場で販売している乗用車用タイヤはインドの道路条件にあわせた専用設計となっており、市場ニーズに応える商品性能と YOKOHAMA ブランド販売網の拡大によって YIN は急成長を遂げ、インドは横浜ゴムにとって最重要市場のひとつとなっています。

インドの自動車産業は 2022 年の自動車販売台数が日本を抜いて世界第 3 位になるなど急拡大しており、横浜ゴムは今後も成長が続くと見込んでいます。この成長に対応すべく、当社は YIN の生産能力を拡大し続けており、操業開始時の年産 70 万本を 2019 年に 153 万本、2021 年に 196 万本まで増強してきました。そしてこのたび、280 万本に引き上げる拡張工事が完了し、2023 年 1 月より生産を開始しています。



ヴィシャカパトナム工場



ヨコハマ・インディア

ヨコハマ・インディアの概要

本社・工場所在地：インド ハリヤナ州バハドゥールガール工業団地

設立：2007年4月

事業内容：補修用の乗用車用タイヤ、自動車メーカー向け新車装着用タイヤの生産・販売

操業開始：2014年7月

生産能力：280万本/年

工場敷地面積：約10万m²

ヴィシャカパトナム工場の概要

会社名：ATC Tires AP Pvt. Ltd. (YOHTのグループ会社)

所在地：インド アンドラプラデシュ州ヴィシャカパトナム・アチュタプラム工業団地

敷地面積：約39万m²

このリリースに関するお問い合わせ先
横浜ゴム（株）経営企画部 広報室 担当：山崎、池田
TEL：0463-63-0414 FAX：0463-63-0552